

ENIGMA FirePlus FI-MONKEY (AB27) 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA FirePlus (FBD340/FBD340RTF)

対応車両 YAMAHA FI-MONKEY(フューエルインジェクション車 JBH-AB27-190~)

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA FirePlus のカプラーと接続してください。

ENIGMA FirePlus 本体は、過度な振動や雨水などがかからないよう固定してください。(配線接続作業は一切ありません。)

ECU に繋がっているカプラーを外し、ENIGMA FirePlus から出ているカプラーを ECU と車体側に接続してください。

「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なモンキー(フューエルインジェクション車 JBH-AB27-190~)の整備知識が必要です。

ノーマル車両には、シートの下に ECU が有ります。シートを外すと ECU がプラスチックのステーによって取り付けられています。ECU に繋がっている 33 ピンカプラーを外し配線を加工して Enigma FirePlus を割り込みさせて下さい。Enigma FirePlus は近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後 ECU を取り付けてください。

カプラー側の配線に Enigma FirePlus 配線を点火線、インジェクター線及び、O2 センサー線を除き **割り込み接続** します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

Enigma FirePlus の動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

- 基本的に Enigma FirePlus から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。

ENIGMA FirePlus から接続する配線は全部で 12 本です。

ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。

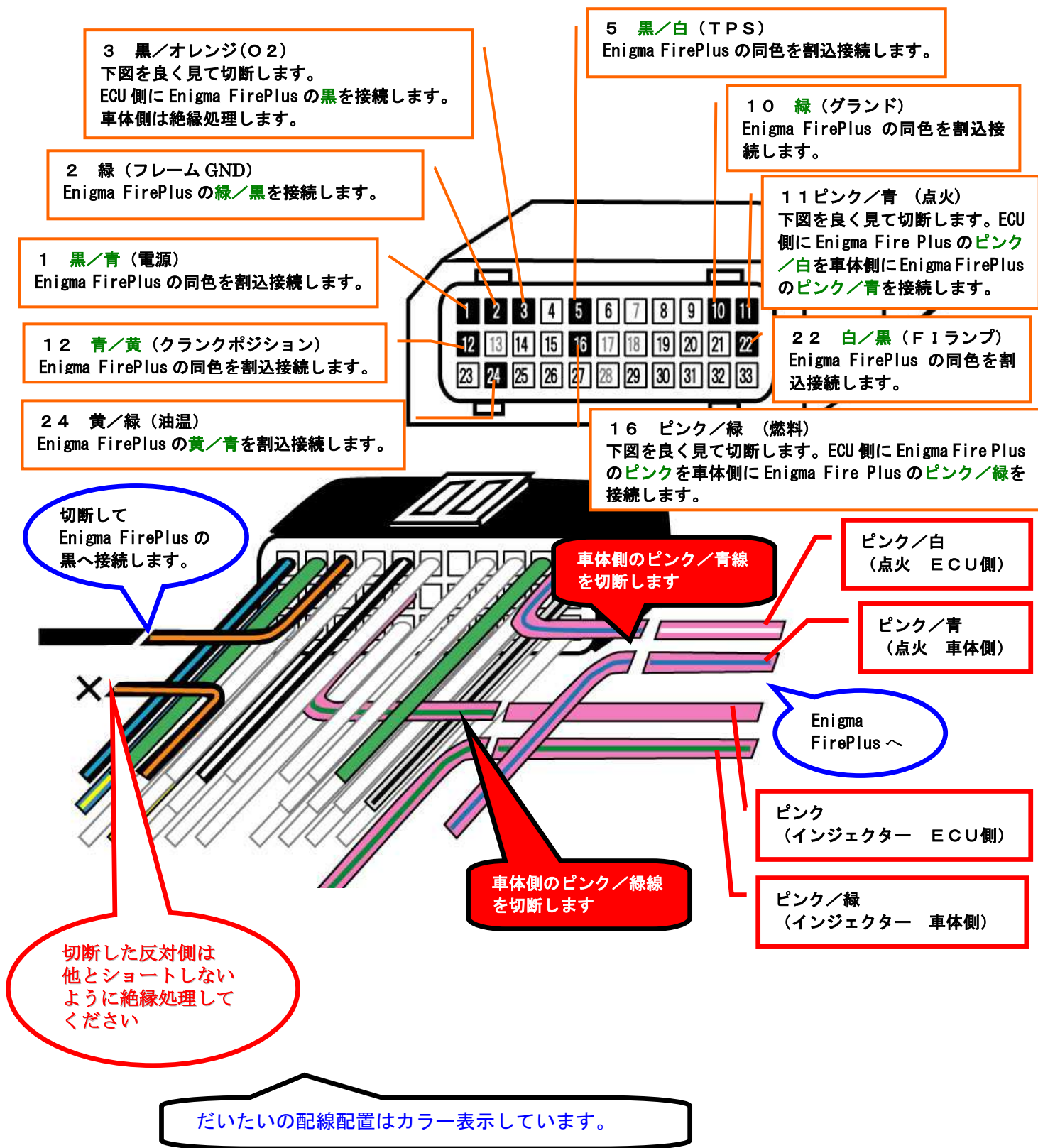
使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

- ※ ECU の 11 番端子 (ピンク/青) へ接続されている線 (点火コイルへの信号) を切断して、Enigma FirePlus からの配線で、バイク車体側にピンク/青線を接続、ECU 側にピンク/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECU の 16 番端子 (ピンク/緑) へ接続されている線 (インジェクターへの信号) を切断して、Enigma FirePlus からの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECU の 3 番端子 (黒/オレンジ) へ接続されている線 (O2 センサーからの信号) を切断して、Enigma FirePlus の黒線と ECU 側を接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ ボディアース (フレーム GND) へ接続する緑/黒線は、バッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECU の 2 番端子 (緑線) へ接続してください。ECU の 9 番、10 番端子 (緑線) には接続しないでください。

- ※ ECUの24番端子（油温センサー）は黄／緑線ですが、Enigma Fireplusの黄／青線を割り込み配線してください。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

（注） Enigma FirePlusはアクセル全開でイグニッションONにしたとき通信可能状態となりFIランプを点滅させますが、モンキーのFIランプは電球のためとても暗く点滅いたします。回りを手で囲うなど暗くすると確認することができます。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、22、24の10箇所です。上図で良くご確認下さい。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma FirePlusはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで Enigma FirePlus 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用 ENIGMA FirePlus FI-MONKEY (AB27) 用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトや FirePlus type-V 用ソフトはご利用になれません。
- iOS 用アプリ、Android アプリは **ENIGMA FirePlus 専用アプリ**をお使いください。
ENIGMA FirePlus 専用アプリは、アプリ内で FI-MONKEY (AB27) 専用バイクモデルを購入することにより FI-MONKEY (AB27) 用 ENIGMA FirePlus で使用することができます。他のバイク専用のバイクモデルや FirePlus type-V 用のアプリは使用できません。
- FirePlus 専用ソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの 2 種類あります。
PRO モードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlus が初めてのの方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。
<http://www.dilts-japan.com>

リプレイサーアイドル同調

モンキーのアイドルリング回転数は、ECUによって決められています。そのため、Enigma FirePlus からアイドルリング回転数の上昇／下降を行うことができません。

モンキー版 Enigma FirePlus では、マニュアル記載のアイドルリング回転数でダミー02 センサー出力電圧を制御していますが、実際のバイクとずれてしまい、燃料がどんどん薄くなっていったり、濃くなっていったりしてしまい、アイドルリングが停止する場合がございます。

この場合、リプレイサー部のアイドルリング同調を使用して、アイドルリング中に燃料が濃くなりすぎたり、薄くなりすぎない位置にスライドバーを調整してください。